

月刊

300



地図と学ぶ

通巻

635

2025年8月

地図中心

特集 日本近代地理学の祖・

山崎直方

八ヶ岳火山附近地質圖

山崎直方踏査及製圖

年九八十二治明

1:250000

明治三十年六月二十日

地理學研究、為滿三年間
獨國留學、う命不

第三高等學校教授山崎直方

文部省文學博士山崎直方



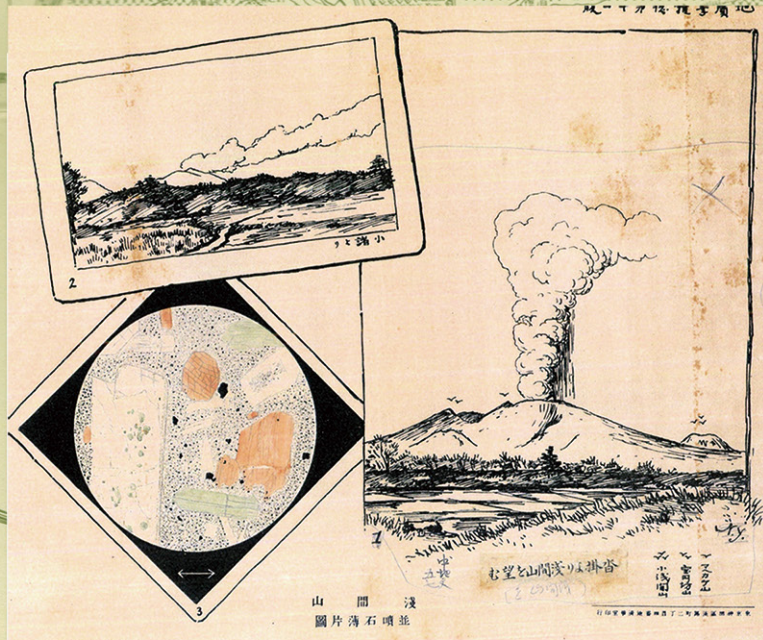
地理學評論

卷 壹 第
上

年 四 十 正 大

1925

會 學 理 地 本 日



地図中心 635号 目次【特集 日本近代地理学の祖・山崎直方】

日本の近代地理学の祖 山崎直方	3
山崎直方の地図・地形スケッチ	4
『大日本地誌』(全10巻、1903-1915)と山崎直方	6
スヴェン・ヘディンの来日と山崎直方	9
小川琢治と山崎直方——構造論の探検	10
山崎直方と辻村太郎～日本地理学会を創り上げた二人～	12
地図コレクターとしての山崎直方と東京大学ライオン文庫	14
山崎直方と山崎文庫	18
山崎直方の高知の生家は何処？	20
山崎直方の大正15年(1926)東北巡検の動画	24
山崎直方の家族と住まい	28
山崎直方による日本の氷河地形研究と山崎園谷のいわれ	31

【連載】

《日本列島1/20万 鶴の目鷹の目36》電子地形図20万「甲府」	小泉 武栄	34
《地図づくり最前線 027》高頻度・高精度の衛星画像をもとに3D地図を提供「Marble Visions」(後編)	片岡 義明	36
《歴史舞台地図追跡 97》江戸・東京をめぐる虚像と実像(其の四)	谷口 榮	38
《地図を片手に大地を駆ける 91》QGISとベクトルタイルを活用したロゲイニング用地図作成	柳下 大	40
《ベクター地歴地図孤軍奮闘記 64》落語の舞台と地図の背景	小島 豊美	42
《地図心中 復活版 40》絵解き—37 60～80代が歩くと…	高橋 美江	44
《地図教育の道具箱 39》現代中等地理教育に生きる山崎直方の偉業	坂口 克彦	46
新刊地形図案内 48 / 今月新刊の見どころ!・日本地図センター便り 49 / 編集後記・次号予告 52		

《表紙》

背景図：山崎直方による八ヶ岳火山付近の地質図、上段(左)：文部大臣からドイツ留学の命、(中)『山崎直方論文集』冒頭に載る荒井陸男による肖像画、山崎家住宅所蔵、(右上)：日本地理学会百周年のロゴ、(右下)：地理学評論1巻1号の表紙、下段(左)：山崎による浅間山のスケッチと噴石薄片図(地質学雑誌1巻)、(右)『西洋又南洋』に掲載のエジプトでラクダに乗る山崎、1922年

一般財団法人日本地図センター

東京時層地図

Tokyo Jisou Maps



『時層地図』は、同じ場所の古地図と現代の地図、過去に撮影された空中写真を切り替えて見比べることができるスマートフォン・タブレットアプリ。過去につくられた地図や空中写真を重ねて見ることで、地層のように土地の変遷を知ることができる、街歩きには欠かせない大人気の地図アプリです。

『東京時層地図』は、「文明開化期」「明治のおわり」「関東地震直前」「昭和戦前期」「高度成長前夜」「バブル期」と6時期の古地図のほか、過去撮影の空中写真に現代の地図・空中写真などを加えた19種類を収録しています。

iPhone

価格(買い切り)
1,900円(税込)

<https://www.jmc.or.jp/digital/app/iphone-tokyo-index/>



iPad

価格(買い切り)
2,500円(税込)

<https://www.jmc.or.jp/digital/app/ipad-tokyo-index/>



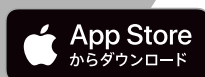
Android

価格(定期購読)
1週間110円, 1ヶ月220円, 1年860円(税込)

<https://www.jmc.or.jp/digital/app/android-tokyo-index/>



iPhone版とiPad版、Android版があり、それぞれで古地図の収録範囲が異なります。詳細はウェブサイトでご確認ください。



一般財団法人日本地図センター

<https://www.jmc.or.jp/>

為替レート変動等を理由に
Apple Inc. および Google LLC が
価格を変更する場合があります。

月刊 地図中心

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

1冊 880円(税込)

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読1年間 12冊

プレミアム会員

6,600円(税・送料込)

プレミアム会員(シニア) 満65歳以上

5,500円(税・送料込)

◆電子版のみのご購読会員(紙版は送付されません)

地図倶楽部会員	会費(税込)	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員(シニア)	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局
map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

日本の近代地理学の祖 山崎直方

特集編集委員

日本地理学会は、今年・2025年3月で創立100年を迎えたが、現在の地理学に関わる人たちのなかでも、その創設者の名が忘れられつつある時期にきていることは否めない。山崎直方こそは日本の近代地理学の祖であり、地理学の発展にその生涯を費やした功労者なのである。

山崎直方は1870年(明治3年)高知に生まれ、第三高等中学校を経て1895年、帝国大学理科大学地質学科卒業。1898～1902年にドイツのボン大学およびオーストリアのウィーン大学へ留学した。帰国後は高等師範学校教授に就任後、東京帝国大学理学部教授を兼任した。理学部地質学教室に長く在職した後、1919年には東京帝国大学理学部に地質学教室が開設され主任教授に就いた。地理学徒の育成のかたわら、1925年に日本地理学会を創設し初代会長となった。在職中の1929年(昭和4年)7月に59歳で没した。

山崎の研究業績は、卒業論文で取り組んだ妙高山のほか浅間山・八ヶ岳などの火山研究に始まり、各地の地質や各種の地形の状況、第四紀に起こった諸現象や天然記念物山崎圈谷(カール)として知られる氷河地形、地震や変動地形から、人文地理や地誌、さらには地理教育にまでも

及んでいて、著作数は320篇以上もある。それらのうち主要な業績は、没後に編纂された『山崎直方論文集』(古今書院1930, 1931)に収められている。

このほか1903年から1915年にかけて、『大日本地誌』全10巻の膨大な資料の編纂に尽力した。1916年には奈良正倉院所蔵の資料を調査して我が国最古の地図を見出した。内外の地図のコレクションも相当数あり、それらは東京大学本郷キャンパスに保管されている。また、所蔵していた図書類や資料などは「山崎文庫」として東京大学柏キャンパスに置かれている。

ウィーン大学でA. ペンク教授に師事して以降、万国地理学会議や万国地質学会議での発表、また1926年に東京で開かれた汎太平洋学術会議では幹事を務めた。その間、来日した多くの外国人地理学者を迎えた。1922年の国際地理学連合(IGU)設立にも参画し、その副会長に就任した。

山崎が47歳になった1917年に建てられた「山崎家住宅」は文京区小石川に現存し、登録文化財に指定されている。今回、その住宅と山崎家に残されている直方所縁の品々などについて、実孫である山崎和男氏



山崎直方肖像画(荒井陸男筆)。山崎家住宅所蔵。荒井は軍事絵画を多く描いた洋画家で、『山崎直方論文集 前編』(1930年 古今書院刊) 冒頭に載る肖像画も荒井筆。

と山崎芳男氏に寄稿いただいた。

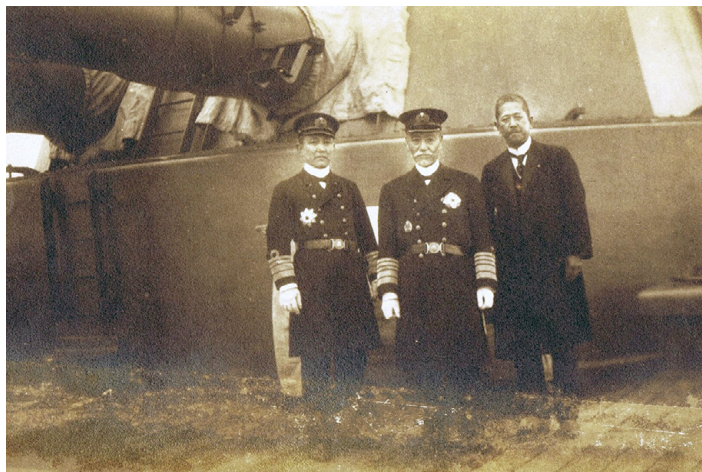
ここで、山崎直方が残した地理学上の功績や業績のほか挿話などを語りつくすことはとてもできないが、その一片なりとも紹介すべく本誌の特集を構成してみた。

特集編集委員

現存する山崎家住宅に居住されている山崎芳男氏と久保純子が早稲田大学関係でつながりを得たことに始まり、山崎和男、芳男両氏の協力のもとに、2025年3月の日本地理学会春季学術大会で、久保と清水長正・橋詰直道の3名が山崎直方の多磨霊園の墓所と山崎家住宅を訪ねる巡検を実施した。そうした流れから、今般この特集を企画することに至った。



1913(大正2)年7月10日 帝国大学地質学教室卒業式での記念写真。山崎家住宅所蔵。前列左から、山崎直方(地理学講座教授)、神保小虎(地質学第三講座教授)、小藤文次郎(地質学第一講座教授)、横山又次郎(地質学第二講座教授)。

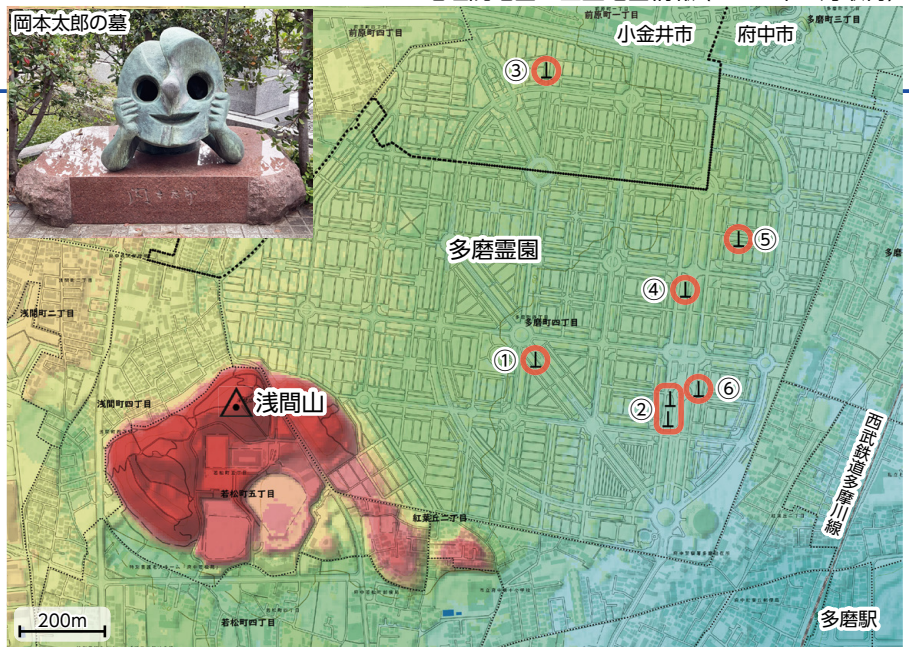


東郷元帥と戦艦主砲塔前での記念写真。山崎家住宅所蔵。左から、小笠原長生、東郷平八郎、山崎直方。1916年に山崎が東宮御学門所御用掛に就任し、その総裁だった東郷と交流が生まれた。山崎家住宅に育つ月桂樹の庭木は東郷から恵贈されたものと伝えられる。

編集後記

本号特集の山崎直方博士は、多磨霊園に眠っています(右図中①、以下番号のみ)。多磨霊園は、1923(大正12)年に開設された公営墓地。1934(昭和9)年に東郷平八郎(②下)が埋葬されたことを機に利用者が大幅に増えました。多磨霊園には直方以外にも、著名な研究者(③: 仁科芳雄・朝永振一郎)・作家(④: 北原白秋)・芸術家(⑤: 岡本太郎)・政治家(⑥: 高橋是清)・軍人(②上: 山本五十六)等、多数の方々が眠っています。

右図中の多磨霊園の南西側にある高まりは、浅間山せんげんやまです。この山の地質は、主に多摩丘陵に分布する御殿峠礫層から成っています。御殿峠礫層は、周辺の武蔵野台地の立川面(形成年代・約4~1.5万年前)よりも、古い地層(約50万年前)。浅間山は、多摩川によって削り残された「残丘」という地形です。お墓参りを兼ねたフィールドワーク、いかがでしょうか? (編集長・小林政能)



山崎直方の墓(正面)



山崎直方の墓(側面墓碑銘)

次号予告 2025年9月 通巻636号

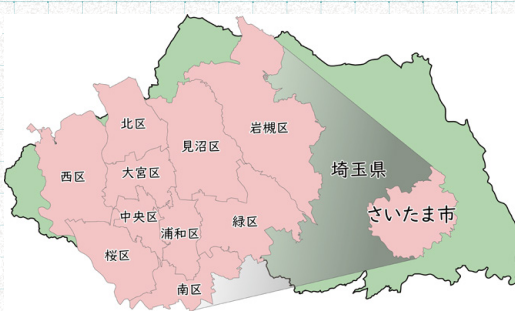
毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

地図中心 総特集

さいたま市
=浦和+大宮+与野+岩槻

宿場町として発展した浦和、「鉄道の街」として知られる大宮、人形の町・岩槻。そして、見沼田んぼや見沼代用水が織りなす緑豊かな風景など、多彩な表情をもつ「さいたま市」は、2026年で誕生25周年。さいたま市が歩んだ四半世紀の歩みを地図で振り返り、街の魅力に地図で迫ります。



バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2025-8 通巻635号

発行 2025年8月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター

〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(月刊「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

2025年7月号(通巻634)で、誤りがありました。訂正して、お詫び申し上げます。

P.45、図4キャプション追加

図4 銅戈・銅鐸出土分布

日本列島に分布する主な銅戈と銅鐸。柳沢遺跡が一括埋納の分布圏東端であり、九州型銅戈は近畿圏(瀬戸内中部より東)には出土例が今のところない。(長野県埋蔵文化財センター作図を一部加工)

P.45、中段・1~2行目追加

い、研磨整形の仕上げは千曲川沿いに10kmほど上流にある長野市松原

雑誌 86689-08



4910866890850
00800

発行 一般財団法人日本地図センター 定価880円(税込)

広島・長崎 戦前・原爆・戦後 空中写真と地図の伝承録



□本書の特徴

- ◆広島と長崎の街を戦前・原爆前後・戦後・現代に分け、空中写真と地図で比較
- ◆地域ごとの詳細比較で、都市の変遷と記憶を可視化
- ◆米軍偵察写真・戦前地形図・戦後復興写真・最新立体地形図ほかを収録

□おもな内容

【広島編】

- ◆1925年から2025年まで、広島市中心部を8つの年代で比較
- ◆1945年9月7日、爆心地周辺・広島城周辺の大縮尺写真ほか

【長崎編】

- ◆1924年から2025年まで、長崎市中心部を7つの年代で比較
- ◆1945年9月7日、爆心地周辺・長崎駅周辺の大縮尺写真ほか

米国国立公文書館所蔵米軍撮影 空中写真

太平洋戦争末期、サイパンの基地に配備された第3写真偵察戦隊は、B-29を写真偵察専用に変改した撮影機 F-13 を用いて、1944 (昭和19) 年11月から日本に対して写真偵察を始めました。(中略) 長崎の被爆者の方の証言の一つに「原爆の翌日に B-29 が飛んで来て、また原爆を落とされるのではないかと思った」とあります。これは偵察に飛んできた F-13 を目撃されたことと推察されます。

(本文より)

仕様：A4判、104ページ

定価：1,980円 (本体1,800円+税10%)

発行：2025年7月25日

ISBN978-4-88946-405-4

●ご注文方法

○インターネット：日本地図センターネットショッピングサイト (<https://net.jmc.or.jp/index.html>) よりご注文ください。

○書店お取り寄せ：最寄りの書店へご注文ください。

○その他：右記にお問い合わせください。

●お問い合わせ

(一財) 日本地図センター

東京都目黒区青葉台 4-9-6

<https://www.jmc.or.jp/>

情報サービス部情報サービス課

TEL:03-3485-5414

FAX:03-3465-7591



日本地図センター
ネットショッピングサイト